



Microsoft Exchange Online デ バイス認証ガイド



目次

はじめに	3
------------	---

Exchange OnlineでのSMTP AUTH を有効にする	4
--	---

メールサーバーのOAuth 2.0認証を設 定する	5
------------------------------------	---

OAuth 2.0認証時の情報確認	7
操作パネルから確認する	7
ネットワークステータスシートで確認する	7

ファクスサーバーのOAuth 2.0対応 (対応機種のみ)	8
--	---

Epson Print Admin Serverless [To マイメール] 機能のOAuth 2.0認証 (対 象機種のみ)	9
--	---

トラブル対処	10
サインインできない、またはユーザーがログ インできない	10
メール送信できない	10
有効期限切れのメッセージが表示される	11
ジョブ確認メニューにエラーコードが表示さ れた	11

商標	12
----------	----

はじめに

Microsoft Exchange Onlineのセキュリティー強化により、従来の「Basic認証」方式が廃止され、SMTP認証（SMTP AUTH）が初期設定で無効化されました。そのため、今後メールサービスを利用するには、「OAuth 2.0」の認証方式を使う必要があります。

プリンターやスキャナーのメール送信/メール通知機能等を利用される場合は、メールサーバー設定をOAuth 2.0認証で設定してください。

以下の対応が必要です。

- Exchange OnlineでのSMTP AUTHを有効にする
- メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する

プリンターやスキャナーは、最新のファームウェアを適用してお使いください。

Exchange OnlineでのSMTP AUTHを有効にする

プリンターやスキャナーは、SMTPのプロトコルを使用してメール送信するため、Exchange OnlineのSMTP AUTHを有効にする必要があります。

詳細の手順は、「Microsoft Learn」サイトをご覧ください。

設定手順

- [Exchange 管理センター] で、組織全体の [セキュリティの既定値群] を無効にして、SMTP AUTHを有効にしてください。
- [Microsoft365管理センター] で、プリンター管理者用のメールボックスに対してSMTP AUTHを有効にしてください。

メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する

Web Configを使ってメールサーバーにOAuth 2.0認証を設定します。

参考 増設ネットワーク対応機種は、標準ネットワークに設定してください。増設ネットワークは、OAuth 2.0認証は対応していません。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

[ログオン] を選択し、管理者パスワードを入力して [設定] をクリックします。

3. [ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [基本] の順にクリックします。

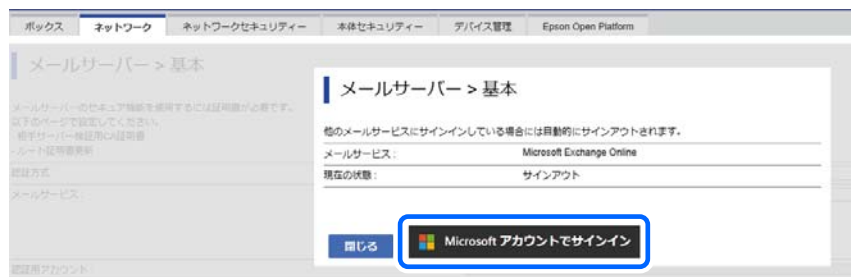
4. [認証方式] に [OAuth2] を選択します。

5. [メールサービス] に [Microsoft Exchange Online] を選択します。

参考 個人でご利用の場合は [Outlook.com] を選択します。

6. サインインします。

[サインイン] をクリックして、表示される画面で [Microsoft アカウントでサインイン] をクリックします。



7. 画面に表示される認証コードをコピーして、表示されているURLをクリックします。



メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する

8. アクセス許可コードの入力画面で、コピーした認証コードを貼り付けて「次へ」をクリックします。
9. Microsoft サインインの画面で、プリンターの管理者のアカウントを入力して「次へ」をクリックします。
グローバル管理者のロール権限を持っているアカウントのメールアドレスを入力してください。
10. パスワードを入力して、「サインイン」をクリックします。
11. 要求されているアクセス許可画面で「組織の代理として同意する」にチェックをして「承諾」をクリックします。

認証が完了すると、サインインのメッセージが表示されるのでブラウザの画面を閉じます。

Web Configの「ネットワーク」タブ-「メールサーバー」-「基本」のページでサインインの状態が確認できます。

The screenshot shows a web interface for configuring a mail server. At the top, it says 'メールサーバー > 基本' (Mail Server > Basic). Below that, a red message indicates 'サインインしました。' (Signed in). The 'メールサービス:' (Mail service) is set to 'Microsoft Exchange Online'. The '現在の状態:' (Current status) is 'サインイン' (Signed in), which is highlighted with a blue box. At the bottom, there are two buttons: '閉じる' (Close) and 'サインアウト' (Sign out).

サインインが完了すると、OAuth 2.0認証のアカウント情報等が表示されるようになります。

12. 「設定」をクリックし、設定情報をプリンターに送信します。

OAuth 2.0認証時の情報確認

メールサーバーの設定情報は、以下の方法で確認できます。



プリンターの画面に  アイコンが表示されている場合は、アイコンを選択して管理者としてログオンしてください。

操作パネルから確認する

1. 操作パネルのホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [メールサーバー設定確認] の順に選択します。
メールサーバー設定情報が表示されます。

ネットワークステータスシートで確認する

1. 操作パネルのホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [ステータスシート印刷] の順に選択します。
2. メッセージを確認して、印刷を開始します。
ネットワークステータスシートが印刷され、メールサーバー設定の情報を含むネットワーク情報が確認できます。

ファクスサーバーのOAuth 2.0対応（対応機種のみ）

ファクスサーバーを経由して、メール送信した内容を相手のファクス機に送信できる機能に対応している機種は、ファクスサービスを提供するインターネットファクスの事業者のファクスサーバーがOAuth 2.0認証になっている場合は、デバイスのOAuth 2.0認証を設定する必要があります。

Web Configの［ファクス］タブ-［ファクスサーバー］-［メールサーバー設定］画面で、メールサーバーの［認証方式］を［OAuth2］に設定します。

その他の設定情報は、サービスを提供する事業者にお問い合わせください。

Epson Print Admin Serverless [To マイメール] 機能のOAuth 2.0認証 (対象機種のみ)

Epson Print Admin Serverlessで、認証設定の [送信元アドレス] に [ユーザーのメールアドレス] を指定している場合、メールサーバーのOAuth 2.0認証設定に加えて、各ユーザーが自分のメールアドレスでサインインする必要があります。

最初に、プリンター管理者のメールアドレスを使用し、管理者がサインインして、[組織の代理として同意する] をチェックしてアクセス許可範囲を設定してください。

1. Epson Print Admin Serverlessの画面で、プリンターの管理者権限を持つユーザーでログオンします。
2. [To マイメール] を選択します。

参考 機種によってメニュー名が異なることがあります。

サインインの画面が表示されます。

3. グローバル管理者のロール権限を持っているアカウントのメールアドレスを入力して、[次へ] を選択します。
4. パスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。
5. アクセス許可画面で [組織の代理として同意する] にチェックを入れて、[承諾] を選択します。

サインインに成功すると、Epson Print Admin Serverlessの画面にメッセージが表示されます。

[確認] を選択して、画面を閉じてください。



管理者のサインインを完了すると、その後からはEpson Print Admin Serverlessに登録されている各ユーザーが、自分でサインインをすると、メール送信機能が使えるようになります。

各ユーザーが初めて [To マイメール] のメニューを選択したときに、サインインの画面が表示されるのでサインインをしてください。

サインインするときは、会社や組織のMicrosoftアカウント（メールアドレスとパスワード）を使ってください。

トラブル対応

サインインできない、またはユーザーがログインできない

Entra IDで条件付きアクセスポリシーによりブロックされている場合があります。

对処方法：

Entra IDで条件付きアクセスポリシーを確認してください。
詳細の手順は、「Microsoft Learn」サイトでご確認ください。

メール送信できない

「この機能の利用には、メールサービスへのサインインが必要です。管理者にお問い合わせください」と表示されます。

对処方法：

Web Configで、現在の状態を確認してください。以下の順に選択します。
[ネットワーク] タブ- [メールサーバー] - [基本]

メールサーバー > 基本

メールサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。
以下のページで設定してください。

- 相手サーバー検証用CA証明書
- ルート証明書更新

認証方式:	OAuth2
メールサービス:	Microsoft Exchange Online
現在の状態: サインイン	
サインアウト	
認証用アカウント:	xxxxxx@xxxxxx.onmicrosoft.com
認証用パスワード:	*****
送信元アドレス:	xxxxxx@xxxxxx.onmicrosoft.com
SMTPサーバーアドレス:	smtp.office365.com
SMTPサーバー ポート番号:	587
セキュア接続:	STARTTLS
証明書の検証:	☒ 有効 ☐ 無効

証明書の検証を有効にすることをお勧めします。
無効にするとメールサーバーの安全性を確認せずに接続します。

POP3サーバーアドレス:	
POP3サーバー ポート番号:	

「現在の状態」が「サインイン」になっている場合は、サインインの情報がプリンターに保存できていない可能性があります。「設定」をクリックし、設定情報をプリンターに送信します。

「現在の状態」がなく、「サインイン」のボタンが表示されている場合は、サインインの操作をしてください。

関連情報

➡ [「メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する」 5ページ](#)

有効期限切れのメッセージが表示される

サインインをしてからメール送信機能を利用しない状態が一定期間経過しています。
OAuth 2.0認証を使用しているプリンターが長期間利用されなかった、メール送信の機能が使われない場合、アクセストークン、リフレッシュトークンが無効になります。

対処方法：

管理者が再度、サインインの操作をしてください。

関連情報

➡ [「メールサーバーのOAuth 2.0認証を設定する」 5ページ](#)

ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された

メール送信機能に何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。
[ジョブ/状態] - [ジョブ状態] を選択すると確認できます。 エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

エラーコード	状況	対処方法
360	クラウドサービスもしくはメールサービスとの連携がされてません。	クラウドサービスもしくはメールサービスの連携を実施してください。
361	クラウドサービスもしくはメールサービスとの連携の有効期限が切れています。	クラウドサービスもしくはメールサービスの連携を実施してください。
370	クラウドサービスへの再サインインが必要です。	クラウドサービスにサインインしてください。

関連情報

➡ [「メール送信できない」 10ページ](#)

➡ [「Epson Print Admin Serverless \[To マイメール\] 機能のOAuth 2.0認証（対象機種のみ）」 9ページ](#)

商標

- Microsoft、Exchange Online、Microsoft 365、Microsoft Entra ID、Outlook.com、およびその他の製品名は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- 通則：本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。エプソンはそれらの商標または登録商標には一切関与していません。
- © 2025 Seiko Epson Corporation